

増穂だより



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <https://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集 / 芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日 / 令和8年3月23日 発行
■印刷 / 株式会社横浜総合写真



Contents

■ 巻頭/生徒会情報/職場体験/Webコンテスト	2P	■ SSH 生徒探究発表会/様々な外部発表会への参加	
■ 学年情報 (中学/高校)	3P	/PCR 実験講座	6P
■ 合唱祭 (中学/高校)	4P	■ PTA情報/後援部情報	7P
■ 高校 第44期生卒業式	5P	■ トピックス	8P

変わりゆく物、変わらぬ物

高校教頭 平林 浩史

日ごとに暖かさを増し、校庭の桜もいよいよ開花のときを迎えようとしています。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私たちは今、凄まじいスピードで変化する時代の中を生きています。変化という言葉では生ぬるい、まさに激変の渦中です。昨日までの常識が、今日には懐かしの昭和・平成エピソードとして語られる。そんな光景を前に、時折、寂しさを感じることがあります。最近のニュースに「番号案内『104』のサービス、2026年3月31日終了」がありました。若い世代の方々には「それ、何？」と聞き返されるかもしれません。かつて、見知らぬ誰かの電話番号を知るには、この三桁をダイヤルし、オペレーターに名前と住所を告げるのが唯一の手段でした。公衆電話に置かれた分厚い電話帳をめくる音も、今や絶滅危惧種の環境音です。また、街の風景からも静かに消えようとしているものもあります。「踏切」です。現在、鉄道の新設や道路の改良において、原則踏切を新しく作ることは禁止されています。安全面や交通渋滞の緩和が理由と思われるのですが、あの「カンカンカン」という独特の音や、遮断機を待つあのもどかしい時間は、いずれ教科書の中だけの風景になるのでしょうか。便利になるのは嬉しいことです。しかし、便利さと引き換えに、私たちは待つことの豊かさや不便さゆえの工夫を少しずつ手放しているのかもしれない。学校現場もまた、変化の最前線にあります。黒板とチョークはタブレットとホワイトボードに姿を変え、生成 AI が宿題の相談相手

になる時代です。本校も、最先端の ICT 教育を取り入れ、生徒が新しい時代を生き抜くための武器を手に行けるよう努めています。変わることを恐れているのは、生徒たちの未来を守ることが出来ません。しかし、だからこそ我々は今、改めて「変わってはいけない物」について考えなければならないと思います。それは、他者の痛みに寄り添う想像力であり、正解のない問いに対して粘り強く考え抜く誠実さです。たとえ 104 番がなくなっても、誰かと繋がりたいと願う心の温もりは変わりません。踏切がなくなっても、人生の途上で一旦停止し、左右の安全を確認して慎重に進むべき局面があることは変わりません。知識を検索することは容易になりましたが、その知識をどう使い、誰のために役立てるかという志の部分は、それほど技術が進歩しても、対話と経験を通じてしか育れないものです。本校が大切にしているのは、この不易流行の精神です。時代の変化に柔軟に対応するしなやかさと、建学の精神という不易の柱。この両輪が揃って初めて、教育は真の力を発揮します。生徒たちには、新しいツールを軽やかに使いこなしつつも、泥臭い努力や、直接顔を合わせて語り合う時間の尊さを忘れない人間であってほしい。私たちは、変わりゆく世界を楽しみながら、同時に、人間として最も大切な根っこを太く育てる場所であり続けたいと考えています。

最後に、ご家庭の皆様にお願いがございます。お子様がもし、古い電話の使い方や踏切の意味を聞いてきたら、ぜひ「不便だったけれど、面白かったあの頃」の話をしてあげてください。大人が語る「変わったもの」への愛着こそが、子供たちが「変わらない大切なもの」を見つけるための、最良のヒントになるはずです。

春はもうすぐそこです。変わる勇気と、変わらぬ信念を胸に、新しい季節を共に歩んでまいりましょう。

学年情報

中学 1 年 経験を力にした一年

この 1 年間の学校生活を通して、生徒たちは学習や学校行事の中で着実に成長を遂げてきました。文化祭ではみんなアイデアを出しながら工夫を凝らし、協力してお客様をもてなす姿が見られました。運動会では先輩と力を合わせ、競技や応援に主体的に取り組む中で多くを学びました。合唱祭ではクラスの仲間と心をつなげて一曲を創り上げ、協働する喜びと責任を実感しました。

こうした成長の背景には、日々温かく見守り支えてくださっている保護者の皆様の存在があります。心より感謝申し上げます。生徒の皆さんも、ぜひご家庭でお父様、お母様に「ありがとう」の気持ちを伝えてほしいと思います。4 月には素敵な先輩として後輩を迎えたいと思います。今後も学年目標「傾聴」を意識し、助言を受け入れながらさらなる成長を目指してまいります。

高校 1 年 問いとともに進む次の一年

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。高校生活の第一歩を踏み出したこの一年も、まもなく終わろうとしています。球技大会や文化祭、合唱祭などの行事、探究活動や日々の授業などで問いと向き合う経験を通して、生徒たちは多くの学びや気づきを積み重ねてきました。生徒一人一人が自分なりの問いを持ち考え続けてきた時間は、確かな経験となっているのではないのでしょうか。この春休みは一年を振り返り、改善すべき点だけでなく続けてこられたことや小さな成長にも目を向け、新学期を迎えてほしいと願っています。来年度は文化祭など学校行事で中心となって動く場面が増えていきます。さらにその先には進路に向けて考えていく時間が待っています。「視野は広く、思考は深く」。この一年で得た経験をもとに、それぞれが次の一年を充実したものにしていけることを期待しています。

中学 2 年 小さな成功が育てる、大きな自信

早いもので、もう 2 年生が終わろうとしています。この 2 年間で、子どもたちは大きく成長しました。外見だけでなく、心もたくましくなっています。1 年生のとき「英語は苦手だし、やっても伸びないから嫌い」と言っていた子が、今では「僕、補習じゃないんですか？」と笑顔で話し、単語テストでも力をつけてきました。多くの場合、本当にできないのではなく、「自分はできない」と思い込んでいるだけです。「苦手」は伸びしろのサイン。小さな成功の積み重ねが自信へと変わります。「大丈夫」「よく頑張っているね」という何気ない一言が、子どもたちの背中をそっと押しています。いよいよ 3 年生。これまでの努力とご家庭での温かな言葉を力に、子どもたちはきっと自分の可能性に自信を持って歩いていきます。これからも共に、その成長を支えてまいります。

高校 2 年 思いは固く、手段は柔軟に

近年、AI による社会変化を語られる場面が増えました。大きな変化の中で、私たちには変わることが求められています。しかし、何を変えずに持ち続けるのかもまた、同じように問われています。

学校行事が落ち着いた今、改めて将来への決意を固めた生徒も多くいます。これからの一年は、固い思いを持ちながらも、方法を柔軟に変えていく姿勢が一層大切になります。先日の LHR での模試の振り返りや合格計画の修正も、そのような考えのもとで行った取り組みです。

年度末まで取り組んだ自分史の制作活動は、生徒たちが大切にしたいことを見極める機会となりました。この経験が、ぶれない軸をつくるための支えになるはずです。個儻不羈なチーム 45 期、思いは固く、手段は柔軟に。進路実現に向け、共に歩んでいきます。

中学 3 年 未来を切り拓く

中学 25 期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはこの 3 年間、多くの行事や日々の学校生活を通して、仲間と支え合いながら大きく成長してきました。うまくいったことだけでなく、悩み、迷い、立ち止まった経験もあったと思います。しかし、その一つひとつが皆さんを強くし、自ら考え行動する力を育ててくれました。皆さんの歩みをそばで見守ることができたことを、心から誇りに思います。

4 月からはいよいよ高校生として新たなステージに立ちます。進むべき道を決めるのは自分自身。これまで支えてくれた家族や仲間、先生方への感謝を胸に自分の可能性を信じて挑戦を続けてください。皆さん一人ひとりの未来が大きく拓けていくことを心から応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には 3 年間、学校の教育方針・学年の取り組みへのご理解とご支援・ご協力を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

高校 3 年 「第 44 回卒業式」289 名の門出に寄せて

3 月 2 日、289 名の生徒が晴れやかに学び舎を巣立ちました。保護者の皆様、三年間ないし六年間、生徒たちを温かく支えてくださり、学年団一同、心より感謝申し上げます。学年目標「前後際断・芝柏 Family」を胸に、彼らは過去への後悔や未来への不安を断ち切り、常に目の前の「今」に全力を注いでまいりました。共に切磋琢磨した仲間を「Family」として慈しみ、支え合う強さを育んだ日々は、一生の宝物となるはずです。新たな「今」を歩み始めた卒業生たちの未来が、光り輝くものであることを確信しています。“シバカシ”生活を共に歩んでくださり、本当にありがとうございました。これからも「芝柏 Family」として、よろしく願いいたします。



生徒会情報

高校生徒会本部近況報告

生徒会長

9 月から始動した 45 期生徒会本部では、先代から引き継いだ議案と新しく出た問題についての議案の二つを進めてきました。11 月には生徒総会議案編を開き、部活動予算と球技大会での応援団の設置、冬季の下校時間の延長について話し合いました。特に予算に関しては状況は深刻であるものの、繊細な問題であるため、生徒からの理解を得るのは難しさがありました。また、今まで議論してきたアイス販売機の設置やダウンコートの追加についても千葉県内の私立高校に対してアンケートを行い、他校の状況を踏まえた要望書の作成を進めてきました。そして、1 月にはこれらをもとに先生方との協議会を開き、議案の方向性を共有しました。なお、議案については結果がわかり次第、代表委員会をはじめとした場で共有させていただきます。今後ともより良い学校生活の実現に向けて努めてまいります。

● 職場体験 ●

自衛隊下総航空基地での体験

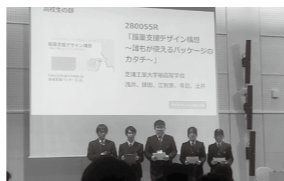
2 年 C 組

私たちは職場体験で海上自衛隊下総航空基地に行きました。基地に到着して「バスで移動します」と言われた時は、そんなに広いのかと疑問に思いましたが、実際に移動してみると想像以上の広さで驚きました。まずは基地の説明を聞き、滑走路の補修などに使う重機の操作に挑戦しました。小型ショベルカーで土をバケツに入れる体験をしましたが、操作は難しく、それを簡単に操る自衛官の方の技量には本当に驚かされました。午後は格納庫で P-1 の実機を見学しました。間近で見る機体は迫力があり、どこに何があるのかが分かってとても面白く興奮しました。さらにシミュレーターを使って、P-1 そっくりのコックピットで操縦し、担当の方と飛行機の話で盛り上がりました。最後は管制塔へ登り、地上救難班の航空機用消防車による放水も見学しました。今回の体験で国を守る自衛隊の様々な活動を知ることができ、とても楽しく充実した体験になりました。

◇ 全国 中学高校 Web コンテスト ◇

悲願の文部科学省賞受賞

2 月 21 日(土) 学校インターネット教育推進協会が主催する全国中学高校 Web コンテストのファイナリストプレゼンテーションが開催され、本校から中学 5 チーム、高校 2 チームが参加しました。全国から集まった中学高校による魅力的なプレゼンが展開される中、本校生徒も事前の練習会の成果を発揮し、堂々としたプレゼン、質疑応答を披露しました。その結果、葉のパッケージのあり方を探究した、高校 2 年生、高校 1 年生の混成チームが最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞することができました。チームリーダーの浅井君は中学 2 年次からファイナリストプレゼンテーションの舞台に立ち続け、4 回目のチャレンジで悲願の受賞となりました。継続して挑戦し続けることの大切さを学ぶ貴重な機会になりました。



合唱祭

中学



第24回 中学合唱祭結果

金賞	3年D組	春に	特別賞(2年)	2年E組	ほらね、
銀賞	3年A組	群青	特別賞(1年)	1年D組	大切なもの
銅賞	3年C組	あなたへ ～旅立ちに寄せる メッセージ～	指揮者賞	3年D組	指揮者
			伴奏者賞	2年E組	伴奏者
			ポスター大賞	2年D組	

高校



第23回 高校合唱祭結果

金賞	2年5組	あなたへ ～旅立ちに寄せる メッセージ～	特別賞	1年8組	YELL
銀賞	2年1組	サザンカ	指揮者賞	1年8組	指揮者
銅賞	2年6組	COSMOS	伴奏者賞	2年4組	伴奏者
			ポスター賞	2年3組	

心重ねた合唱

中学合唱祭実行委員長

私は実行委員長として、合唱祭を通してクラスや学年のみんなの成長を強く感じました。練習が始まったころは、大きな声が出なかったり、理想の歌声が人によって違って、不安を感じることもありました。しかし、回数を重ねるうちに、一人ひとりが自分の役割を意識するようになり、よりよい合唱にしようと真剣に取り組む姿が見られるようになりました。本番当日は、緊張した表情の人も多かったですが、ステージに立つとこれまでで一番の歌声を響かせていました。指揮者をしっかり見て、クラス全員で心をつなげて歌う姿に、今日までの練習の頑張りが伝わってきました。歌い終わったあとの生徒の表情は、とても安心と自信に満ちていたのが印象的です。今回の合唱祭で学んだ協力することの大切さや、最後までやりきる力を、普段の学校生活や来年度の合唱祭につなげていってほしいと思います。

高校合唱祭

去る12/12(金)、森のホール21で高校合唱祭が行われました。インフルエンザの流行による学級閉鎖や、久方ぶりの中高同日開催に伴う様々な制約により、生徒の皆さんには多くの窮屈な思いをさせてしまいましたが、当日は素晴らしいハーモニーを奏でてくれました。昨年は体育館、今年は森のホールと、コロナ禍による中止からようやく戻ってきたと感じます。舞台袖での緊張した面持ちは、森のホールだからこそ見られる光景として強く印象に残りました。ご来場された皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。



高校 第44期卒業式



送辞

45期生徒会副会長

校庭の木々が芽吹きを季節を迎え、春の風がこの柏の地にやわらかく吹き始めたこの日に、芝浦工業大学柏高校第44回卒業証書授与式が行われることを、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆さんがこの学校で過ごされた三年間を思うと、私たちの胸にもこみ上げてくるものがあります。本日、皆さんの門出をこの場で見届けられることに、大きな喜びを感じております。皆さんが入学した2023年の春は、AIという言葉が急速に広まり始め、人間の仕事なくなるのではないかと、なんとなく落ち着かない空気が漂っていた頃でした。そんな中で皆さんはこの学校の門をくぐり、三年間を歩んできました。誰かと笑って、時にはぶつかって、悩んで、それでもまた一緒に前を向いていく。そのくり返しが、皆さんの三年間だったと思います。増穂祭のことは、本当によく覚えています。テーマは「超戦」でした。廊下や教室で遅くまで作業する先輩方の姿を何度も見かけました。うまくいかないこともあったでしょう。しかし当日、アトラクションの完成度の高さに圧倒されました。全力でコースターを押している先輩方の姿が、今も印象に残っています。これから皆さんは、それぞれの場所へ向かっていきます。社会が目まぐるしく変わる中で、何が正解かわからなくなることもあるでしょう。そんな時、この柏の地で過ごした日々を思い出してください。仲間と笑い合った記憶、何かをやり遂げた感覚は、皆さんの中にずっと残り続けます。離れていても、同じ時間を共に過ごした仲間がいる。その存在がきっと背中を押してくれるでしょう。この三年間で培った力は、どんな時代にも色あせることのない皆さんだけの武器です。先輩方のこれからが温かく豊かなものになりますよう、心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

答辞

第44期生徒会長

冬の厳しい寒さは日増しにやわらぎ、春の訪れを感じる季節となりました。本日、私たちは卒業の日を迎え、この学校から旅立とうとしています。私たち第44期のために素晴らしい卒業式を挙げていただきありがとうございます。振り返ってみると、私たちの学校生活は特別な出来事の連続というわけではありませんでした。休み時間にはくだらない話を続け、体育の授業では暑い寒い愚痴をこぼしながら体を動かし、テスト前には友達と一緒に山をはり、そんな何気ない日常も、今思えば一つ一つが大切な思い出です。これから私たちは「人生100年時代」と呼ばれる社会を生きていかなければいけません。不安定な社会情勢の中で大人になるということは、私たちに期待だけでなく、不安や恐怖を抱かせます。しかし44期はこれまでたくさんの困難に立ち向かってきました。そんな日々の些細な積み重ねが私たちを強くしてくれたと思います。ここで私の好きな曲の一部分を紹介させていただきます。「夕焼けは一瞬 陽はすぐに落ちてく 美しい思い出に 君が立ち止まらぬように」。この歌詞のように、私たちの高校生活も、気づけば終わりの時を迎えています。それでも、高校生活の思い出に立ち止まるのではなく、この3年間で得た経験と友達と共に前へ進むことが、今の私たちに必要なのだと思います。最後にこれまで私たちを温かく見守り、支えてくださったすべての方々に、改めて感謝申し上げます。一緒に部活や委員会などで活動してきた1、2年生の皆さんが残りの芝柏生活を後悔なく、全力で楽しめることを祈っています。この場所で過ごした日々を胸に、私たちはそれぞれの未来へ向かって歩いていきます。



SSH 生徒探究発表会

SSH 生徒探究発表会を開催しました SSH 統括室

2月14日(土)に、SSH 生徒探究発表会を開催しました。学校設定科目「SS II」で課題研究に取り組んできた高校2年生が約2年間にわたる研究の成果を発表したほか、Web コンテストのファイナリストに選ばれた中学2年生から高校2年生までの7チーム31名が各自の作品を発表しました。また、芝浦工業大学の研究室で指導を受けて研究を行ったSSC IIIコースの高校3年生、ベトナム FPT 高校の生徒と共同研究を行った高校1・2年生、外部の大学や研究機関・企業と連携して取り組んだ恐竜研究、芝浦ビジネスモデルコンペティション(SBMC)などに参加した中学1年生から高校2年生の生徒も、それぞれの研究成果を披露しました。全体で約370名もの生徒が発表を行いました。

昨年度と同様に、プレゼンセッションに加えてコアタイムセッションも設

けられました。生徒たちは発表と質疑を繰り返し行い、発表スキルを高めるとともに、参観者との議論を通して理解やアイデアを広げることができました。

発表生徒のほか、高校1年生全員が参観者として発表会に参加し、積極的に質疑応答を行っていました。また、生徒の保護者や教育関係者など約160名が参観のため来校してくださり、参観者数は昨年度に比べて倍増しました。今年度は卒業生に限らず広く探究アドバイザーを募集したところ、合計15名の方が参加してくださいました。生徒の発表に対して真摯に向き合い、指導や助言をしていただき、充実した発表会となりました。



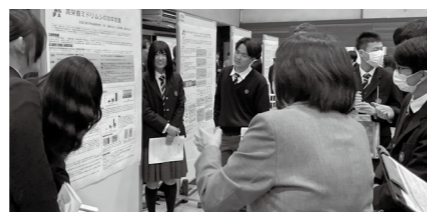
様々な外部発表会への参加

様々な外部発表会に参加しました

2月18日から19日にかけて、宝山ホール(鹿児島市)にて開催された「高校生国際シンポジウム」に、本校生徒4チーム7名が参加しました。発表テーマは、「ミラージュ装置で投影された実像の歪みの解明」「大気圏内型イオンエンジンモデルの作成及び高度別大気圏での推力検証」「地下水を水源としたピオトープにおける、珪藻の季節変化」「宇宙エレベーター実現のための国際体制の提案」の4つです。厳正な書類審査を通過して本番に臨んだ生徒たちは、第一線の研究者を前にしても堂々と発表し、鋭い質問にもしっかりと答えました。また、多様なテーマを探究してきた全国の生徒たちと交流を深めたほか、探究の成果を進路に活かした大学生・社会人による座談会や、大学の先生方の講演を拝聴し、たくさんの刺激を得て帰ってきました。

1月27日には、沖縄科学技術大学院大学(OIST)で開催された「イノベティブ・サイエンス・フェス

タ2026」に、高校2年生の7チーム(17名)が参加しました。全国各地のSSH指定校の生徒と合同で研究活動を英語で発表し、OISTの博士課程の学生から質疑応答やフィードバックを受ける場となりました。当日は、研究発表や助言に続いて、OISTのラボツアーにも参加しました。生徒たちの振り返りからは、英語での研究発表を通して、自らの取り組み内容を聞き手に適切に伝える構成力の必要性を実感した様子がうかがえました。この経験が、英語で発表することに対するモチベーションの向上につながったようです。



PCR 実験講座

高大連携 PCR 実験講座を実施しました

東邦大学理学部の佐藤浩之教授と芝浦工業大学の奥田宏志教授によるPCR実験講座を開催しました。『遺伝子で調べる 得意な陸上種目』をテーマに、自分の頬の細胞を採取してDNAを取り出し、自分がパワースプリント系なのか、持久系なのかを調べました。反応の待ち時間中に佐藤教授が遺伝子に関する様々なお話をしてくださり、途中で笑いが起こるなど、終始楽しい時間を過ごせたようです。また、奥田教授にはアントレプレナーシップ講座を行っていただきました。

4時間にも及ぶ実験の後、全員の実験が成功して無事に結果が出ると、歓声が上がりました。



PTA 情報

本年度活動報告

PTA 会長

本年度もクラス懇親会をはじめ、様々な活動を行いました。7月と2月に生徒のキャリア教育の一環となる「仕事塾」、10月には増穂祭で「PTA 4部門と休憩所の運営」、11月には岩崎由純先生をお招きしての「文化講演会」。さらに3月には中3「巣立ちの会」、高3「卒業を祝う会」を予定しております。また、花壇整備活動の方も学年の垣根を越えて活動できました。この1年間保護者の皆様、先生方のご協力のもと、無事に計画した活動ができましたこと、大変感謝しております。来年度も引き続き保護者の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今号は各学年代表の幹事さんに1年を振り返っていただきました。

中1 学年代表

中学受験を経て入学後も努力を重ね、慣れない環境の中で頑張りが続けた子供たちの日常を守り支えていただきました保護者・学校関係者の皆様に感謝申し上げます。子供たちの歩みを共有できるありがたさと学校との協力の意義を深く実感した一年となりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

中2 学年代表

懇親会は保護者同士の親睦を深める良い機会となりました。日々の活動の中で子ども達から声を掛けてもらうことも多く、とくに増穂祭では子ども達と一丸となって作り上げる喜びと達成感を味わうことができました。私も芝柏生になれたような、楽しく充実した一年でした。先生方、幹事の皆様、ありがとうございます。

中3 学年代表

クラス懇親会を二度開催し、増穂祭や巣立ちの会に向けた取り組みを通じて、保護者同士の交流を深める一年となりました。特に巣立ちの会準備では、学年としてのつながりを実感しました。幹事の皆さまの行動力、保護者の皆さまのご協力、先生方のご理解に支えられ、PTA 活動に取り組むことができましたことに、心より感謝申し上げます。

高1 学年代表

各クラス懇談会および、増穂祭での

各部門、次期PTA 幹事選考委員会、文化委員会など、それぞれの活動、保護者の皆様のご協力の下、つつがなく行うことが出来ましたことに心より感謝いたします。一年間あつという間でした。残りの高校生活もきっとあつという間。充実した芝柏生活を送ってもらいたいと一保護者として切に願います。

高2 学年代表

修学旅行を始め多くの学校行事があり充実した1年でした。主な活動はクラス懇親会と増穂祭への参加です。幹事の方々は行動力があり協力的でしたので、円滑に活動し今年度を無事終えることができました。幹事の皆様、先生方、保護者の皆様、1年間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

高3 学年代表

増穂祭の出店やクラス懇親会、そして卒業を祝う会の運営が高3の活動でした。幹事の皆さんの迅速な判断やよいチームワークにより、円滑に1年間を終えることができました。活動するにあたり、素敵な学年団の先生方のご理解、保護者の皆様のご協力、そして、PTA 本部の皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。

仕事塾

2月7日、中学3年生および全年年の希望者を対象に、第37回仕事塾を実施しました。当日は9名のアドバイザーの方々にお越しいただき、仕事内容ややりがい、仕事を選んだきっかけ、これまでの経験などについてお話しいただきました。講義後の生徒の感想には、「知らない仕事がたくさんあった」「働くことのイメージが変わった」といった声が多く見られました。これまで身近な職業しか知らなかった生徒にとって、新たな世界に触れる貴重な機会となったようです。また、「今の勉強が将来につながると感じた」「自分も何かに挑戦してみたい」といった前向きな気づきもあり、将来を考える第一歩として有意義な時間となりました。ご協力いただきましたアドバイザーの皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。次回は、今夏に高校2年生を対象として実施する予定です。

後援部情報

後援部活動報告

後援部部長

後援部は、PTA 会費の一部を芝柏の生徒や教職員の教育環境に役立つように、支援の検討をしています。主に施設や設備、教育用備品に関して実行して行く役割を担っております。

1月10日(日)に、今年度第5回後援部会を行いました。今回の支援の要請は、小体育館の空調増設、自習室の椅子の更新、高校棟の窓フィルム貼り付け、吹奏楽部の楽器修理、水泳部の記録タイマー購入、生徒会 iPad 購入の申請が出て参りました。小体育館の空調は、昨年度学校で2台の空調機を設置致しましたが、室内温度が下がりがらず、熱中症になるため、あと2台の増設要請です。

高校棟の窓フィルムも近年の猛暑にて、冷房が効かないための対策となります。

自習室椅子の更新は、長年使用して経年劣化の為、取替致して欲しいと要請です。

水泳部のデジタルタイマーが故障したため、入れ替えの要請です。ルール変更もあり、今のタイマーでは対応が出来ない。電源リール、フロアスタンド、共に購入要請。

生徒会 iPad は、球技大会や文化祭の時、写真や動画を取るために、購入要請、校内プロジェクターとも共有が可能。

吹奏楽部の楽器修理は、オーボエ、クラリネット、テナーサクソ、アルトサクソ、フルートなどの、故障修理依頼。

今年度も増穂祭では、後援部カフェを開き、たくさんの方から、アンケートを頂きました。小体育館の空調は2年前のアンケートで7割の保護者様から、空調を付けて欲しいと要望があった案件であります。どんな要望があるのか、ご意見を頂ける大切な機会でございます。後援部のこれからの方向性を決める為にとっても参考になるアンケートです。

今年の多い意見は、1.「プールの清掃、暑さ対策、備品購入など」、2.「ロッカーを新しく大きなものにして欲しい。」でした。アンケートの内容は学校と共有しております。

後援部員で、今の学校に何をしたら良いのか、全員で考え、アイデアを出し、実行して行きます。なかなか目立たない後援部ではありますが、困った事ありましたら後援部にご相談下さい。引き続き、後援部の活動にご理解とご協力を頂きたく、宜しくお願いします。

職業体験

公募職場体験に参加して

中学2年B組

私は千葉県と株式会社オリエンタルランドが主催する職場体験プログラムに参加してきました。様々なコンテンツがある中で(株)リゾートコスチューミングサービスさんのコスチュームに関する業務を体験してきました。まず、キャストさん全員がつけているネームタグを作成している部屋に行き、実際に機械でタグに名前を彫る体験をしました。次に、キャストさんが着るコスチュームのサイズ分けをし、そのコスチュームが置いてある場所まで運ぶという体験をしました。サイズの幅がとても広く、コスチュームが沢山の場所にあるので、サイズ分けも運ぶのもとても大変でした。成田の工場で洗濯されてきたコスチュームの数量を確認する体験をしました。最新の技術が導入されていました。最後に、キャストさんが実際に着ているコスチュームを着せていただきました。とても貴重な体験をさせていただくことができ、とても充実した職場体験になりました。

社会科

初の最優秀賞受賞

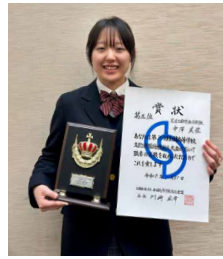
2月15日(日)東京新聞本社で、第22回新聞切り抜き作品コンクールの表彰式が行われ、本校から中学生2名、高校生1名が参加しました。受賞の内訳は中学生の部で最優秀賞が1名、優秀賞が1名、高校生の部で優勝賞が1名となりました。本校では冬休みの宿題として、中学2年生全員が作品作りに取り組みますが、最優秀賞を受賞した伊藤来実さんは中学2年次に引き続き、今年度は自主的に課題に取り組み、本校初の快挙を成し遂げました。自分の興味のある記事がスマホで簡単に読むことができる現代において、紙の新聞を広げながら自分の知らないことが世の中にたくさんあることに気づき、数ある記事の中から自分自身の考えを深めていく価値を感じる1日となりました。



囲碁将棋部

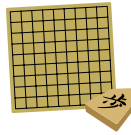
全国将棋新人大会第3位

囲碁将棋部の高校2年生中澤美佳さんが、第34回全国高等学校文化連盟将棋新人大会女子個人戦において第3位に入賞しました。



本大会は1月30日、31日に山形県天童市で開催され、全国から選抜された選手が参加しました。緊張感のある対局が続く中、日ごろの努力の成果を存分に発揮し、終始粘り強く指し進め、見事入賞しました。

全国大会での健闘は、部員にとっても大きな励みとなりました。中澤さんの健闘を心よりたたえるとともに、今後のさらなる活躍が期待されます。



中学女子ソフトテニス部

活動報告

昨年12月の柏市一年生大会で準優勝し、柏支部代表としてU13県大会に臨んだ伊藤・山崎ペア。県内から集まった強豪113ペアの中で見事2勝を挙げ、ベスト32という快挙を達成しました。同ペアは昨年9月の新人戦(※2年生中心の大会)でもベスト8に入り、県大会へ出場しており、現在は柏市選抜メンバーとして強化試合に参加しています。

2人はもちろん、2年生のチームを大切にする姿勢により、部内は非常によい雰囲気です。テニスに必要な「予測力・判断力」は、社会生活や学力を伸ばす力にも通じる「目に見えない力」です。ほかの部活に入部している皆さんも、部活動を通して、自分の学校生活に彩りを添えていきましょう。



吹奏楽部

報告とお知らせ

12月21日(日)に本校グリーンホールにてアンサンブルコンサートを開催しました。保護者の方をはじめ、多くの方にご来場いただき、部員一同心より感謝申し上げます。

2月に東葛飾地区個人コンクールに中高合わせて4名出場しました。結果は金賞3名、銀賞1名の快挙でした。金賞のうち2名(1名は会長賞受賞)が代表として県大会へ出場します。

5月3日(日)柏市民文化会館にて(開場14:30/開演15:00)第39回定期演奏会を開催いたします。皆様にご満足いただけますように部員一同励んでおります。ご家族、ご友人をお誘いあわせの上、ぜひご来場下さい。



高校硬式テニスサークル

NEW 高校硬式テニスサークル設立!

副代表 2年6組

硬式テニスサークルは、2025年6月に設立された新しいサークルです。実はこれまで何度か設立が否決されてきました。しかし1年以上かけて先生方や他の部長さん方と何度も話し合いを重ね、自分たちの想いを伝え続けてきました。簡単な道のりではありませんでしたが、たくさんの生徒の皆さんや先生方の理解と温かい支えがあったからこそ、今こうして芝柏のコートで芝柏の仲間と共に練習できています。まだ始まったばかりの新しいサークルで、試行錯誤の連続です。しかしだからこそ、一人ひとりの考え方を大切に、練習内容や目標を自分たちで考えながら日々活動しています。練習では基礎を大切に声を掛け合い、時には笑顔も交えながら、明るい雰囲気の中で取り組んでいます。これからは大会出場、そして勝利を目指し、技術だけでなく人としても成長できるサークルを築いていこうと思います。